

令和3年度 事業報告

【 基本理念 】

『みなさん一人ひとりが福祉の主役』
～社会福祉法人 筑紫野市社会福祉協議会は、
誰一人 取り残さない福祉のまちづくりに取り組みます。～

【 職員行動指針 】

1. わたくしたちは、地域住民に寄り添い、ともに生きる社会の実現に努めます。
1. わたくしたちは、質の高いサービスを行うため常に自己研鑽に励み、知識と技術の向上に努め、チャレンジ精神をもって業務に取り組みます。
1. わたくしたちは、職員同士のチームワークと各担当の連携を進め、笑顔と感謝を忘れず相手を思いやる気持ちを大切にします。
1. わたくしたちは、社協活動の透明化・健全化を行い、経営の安定化を図ります。

社会福祉法人

筑紫野市社会福祉協議会

社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会

令和３年度事業報告（主文）

新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的大流行）は３年目に入り、市民生活における経済的・社会的影響は、未だに続いており当協議会活動においても事業運営や財政面に、厳しい影響を及ぼした。

そのような中、当協議会では新型コロナウイルス感染症による、経済的な影響を受けた地域住民からの相談を受け付け、生活福祉資金特例貸付の手続きや、自立相談支援機関へ繋げるなど、各関係機関と連携しながら対応を行った。令和３年度、筑紫野市において生活福祉資金特例貸付の利用は９１１件で、総額３７４，４２０千円となった。

また、地域においては、人と人とが繋がることの大切さを実感し、感染症対策をしながら３密とならない方法での個別訪問、電話を使った対話による安否確認や孤立防止など、新たな形での見守り活動が、民生委員・児童委員、福祉委員を中心に、関係機関の協力を得ながらそれぞれの地域で進められた。

結びに、令和３年度事業計画の重点目標に掲げた、経営の安定化については介護保険事業や障害福祉サービス事業、権利擁護事業等において、感染症対策を徹底した上で利用者一人ひとりに合わせたきめ細やかな支援を行い、利用者の生活を守るという役割は果たせたが、経営面においては、各事業とも厳しい状況のまま大きな改善が図れていないため、今後も職員一丸となって、経営安定化に向けた取り組みを進めて行かなければならない。

【1】事業内容（総務担当）

1 理事会の開催

回 数	実 施 日	主 な 議 題
1	5月24日	・令和3年度第1回評議員会の招集について ・令和2年度事業報告及び決算について
2	6月7日	・次期理事候補者の推薦について ・次期監事候補者の推薦について ・次期評議員選任候補者の推薦について
3	6月15日	・会長・副会長の選任について ・次期評議員選任候補者の推薦について
4	12月8日	・令和3年度第2回評議員会の招集について ・職員給与規程の一部改正について ・令和3年度第1回補正予算について
5	3月22日	・定款の一部変更について ・「天拝いこいの館」管理運営規程の廃止について ・経理規程の一部改正について ・職員就業規則の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・事務局長の採用について ・令和4年度役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和3年度第3回評議員会の招集について ・令和3年度第2回補正予算について ・令和4年度事業計画及び予算について

2 評議員選任解任委員会の開催

回 数	実 施 日	主 な 議 題
1	6月7日	・評議員の選任について
2	6月15日	・評議員の選任について

3 評議員会の開催

回 数	実 施 日	主 な 議 題
1	6月15日	・理事の選任について ・監事の選任について ・令和2年度事業報告及び決算について
2	12月22日	・令和3年度第1回補正予算について
3	3月30日	・定款の一部変更について ・令和3年度第2回補正予算について ・令和4年度事業計画及び予算について

4 専門委員会の開催

回 数	実 施 日	主 な 協 議 事 項
1	2月22日	・令和4年度事業計画（案）について

5 福祉会員加入の促進

年 度 区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
一般会員 (1口、250円)	13,567	3,391,497	13,809	3,450,623	13,682	3,420,666
賛助会員 (1口、2,000円)	360	720,000	298	596,000	348	696,000
特別会員 (1口、5,000円)	116	580,000	130	650,000	187	935,000
合 計	14,043	4,691,497	14,237	4,696,623	14,217	5,051,666

6 寄付金の状況

年 度 区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
一般寄付	13	545,772	12	471,299	20	687,300
香典返し	10	1,080,000	11	772,596	10	1,750,000
指定寄付	0	0	2	70,000	2	150,000
合 計	23	1,625,772	25	1,313,895	32	2,587,300

7 福祉バスの運行

年 度 区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用件数 (件)	15	14	144

8 貸付事業（福岡県社協受託事業）

年 度 区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
生活福祉資金貸付 (件)	951	1,327	111

※ 生活福祉資金貸付状況⇒ 緊急小口資金 26件、福祉資金 5件、教育支援資金 9件
 ＊新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付
 緊急小口資金 359件、総合支援資金 552件

9 福祉車両貸出事業

区 分 \ 年 度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用件数（件）	23	75	53

10 老人福祉センターの管理運営事業（市受託事業）

項 目 \ 年 度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者総数（名）	28,017	32,037	61,874

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言中（5月12日～6月21日、8月7日～9月30日）はカミーリヤ休館に伴い老人福祉センターも休館。開館時も入浴のみの利用となっている。また、敬老の日の無料開放も中止。

11 共同募金事業への協力

募金実績額 \ 年 度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
戸別募金（円）	9,949,000	10,268,305	9,966,765
法人募金（円）	2,198,405	2,178,195	2,225,629
イベント募金（円）	0	0	555,280
その他（円）	2,330,797	2,131,041	2,402,683
合 計（円）	14,478,202	14,577,541	15,150,357

※上記表中その他の内容 ⇨ 職域募金、募金箱募金、自販機収入、街頭募金
団体募金、個人募金、学校募金

12 機関誌（福祉だより）の発行

・4回発行 全戸配布

① 4月1日号（42,250部） ② 7月1日号（42,400部）

③ 10月1日号（42,475部） ④ 1月1日号（42,550部）

13 その他

・研 修 ⇨ 12月17日 市区町村社協会長・局長研修

・実習受入 ⇨ 8月16日～9月16日 社会福祉援助技術現場実習

5名受入（久留米大学2名・筑紫女学園大学2名・西南大学1名）

【2】事業内容（地域福祉担当）

1 筑紫野市地域福祉計画等推進委員会の開催

- ・実施日 ⇨ 3月28日
- ・内 容 ⇨ 「第二次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の令和2年度進捗状況について

2 福祉委員制度の推進

- ・実施日 ⇨ 通年
- ・研修等

第1回研修会 テーマ 「福祉委員と社会福祉協議会の情報交換会」

コロナ禍において、福祉委員の中で活動に苦慮しているという意見もあったため、活動の悩みや地域の問題点について把握するために開催した。そのため、今回の研修会(情報交換会)では、行政区毎(小地域)の福祉委員と社協職員の座談会形式で開催した。

- ・開催期間 令和3年11月8日(月)～12月21日(火)(うち18日間)
- ・参加者

二日市コミュニティエリア	33名(14グループ)
二日市東コミュニティエリア	26名(11グループ)
山口コミュニティエリア	23名(8グループ)
御笠コミュニティエリア	27名(10グループ)
筑紫南コミュニティエリア	11名(5グループ)
筑紫コミュニティエリア	39名(9グループ)
山家コミュニティエリア	7名(4グループ)

参加者数 166名／61グループ

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
福祉委員数(名)	189	190	187
福祉委員設置済行政区数	77	77	76

※数字は、毎年3月末日の実績です。

3 ふれあいいきいきサロン活動の支援・助成

- ・実施箇所 89ヶ所

高齢者サロン73ヶ所

※コミュニティ毎内訳	二日市	19ヶ所	御笠	14ヶ所	筑紫南	6ヶ所
	二日市東	10ヶ所	山口	6ヶ所		
	山家	8ヶ所	筑紫	10ヶ所		

子育てサロン14ヶ所

※コミュニティ毎内訳	二日市	3ヶ所	御笠	1ヶ所	筑紫南	2ヶ所
	二日市東	2ヶ所	筑紫	6ヶ所		

障がい者サロン 2ヶ所

※コミュニティ毎内訳 二日市 2ヶ所

- ・サロン活動助成金交付箇所 86ヶ所
- ・サロン訪問支援回数 延べ28回
- ・レクリエーション用具の貸し出し 延べ251件
- ・ふれあいいいききサロン連絡会

(高齢者・障がい者サロン対象)

11月1日(月) 10:00～

- ・テーマ「サロン代表者新任連絡会」
講 師 筑紫野市社協地域福祉担当
- ・参加者19名

(子育てサロン対象)

11月24(水) 25(木)10:00～、13:30～

- ・テーマ「サロン活動でつかえるものづくり」
講 師 筑紫野市社協地域福祉担当
- ・参加者11名

4 生活支援体制整備事業の推進(受託事業)

- ・内 容 ⇨ 高齢者等の生活支援・介護予防の提供体制の構築を目的に、ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、互助活動が活性化した地域づくりに取り組んだ。

※具体的取組(抜粋)

- ・マッチング、コーディネート
⇨平等寺区において移動販売実施
- ・社会資源情報収集にかかる取材件数
⇨上半期8件、下半期5件 計13件
- ・第一層協議体(つくしネット筑紫野)及び生活支援・介護予防部会の運営支援
⇨・9月会議に向けた各委員個別ヒアリング実施(8～9月)
 - ・令和3年度方針説明及び進捗状況報告(9/30) ※オンライン会議
 - ・12月会議に向けた各委員個別ヒアリング実施(10月)
 - ・各コミュニティの進捗報告及び地域の担い手発掘に関する意見交換(12/15)
 - ・生活支援・介護予防部会と認知症対策部会の合同会議 ※書面会議
- ・コミュニティにおける情報共有の場設置に係る打合せ及び会議への出席
⇨上半期65件、下半期54件 計119件
- ・事業推進に係る各種会議等への参加
⇨・地域包括ケア推進会議(7/30)
 - ・自立支援型地域ケア会議(計11回)
 - ・庁内担当者会議(11/22)
 - ・地域包括支援センターとの連携(計7回)
 - ・7コミュニティ健康福祉部合同会議(2/8)
 - ・高齢者支援課との検討会議(計38回)

・地域包括ケアシステムの啓発（支えあい学習会）の実施等

実施日	地区・団体	参加者数
4/30	山口コミュニティ 地域包括ケアシステム学習会（2回目）	22
6/23	筑紫南コミュニティ 区長研修会	18
6/25	山家コミュニティ 包括ケアシステム代表推進者合同研修会	30
7/29	筑紫コミュニティ 福祉推進者のつどい	27
8/3	二日市東コミュニティ 主事会研修	15
8/5	山口コミュニティ 地域包括ケアシステム学習会（3回目）	25
9/29	山家8区 区役員及び福祉関係者等向け学習	18
10/21	筑紫南民生委員児童委員協議会	18
11/1	筑紫南コミュニティ 区長と民生委員・児童委員の情報交換会	34
11/8	民生委員児童委員連合会 高齢者福祉部会	31
11/7	立明寺区 区役員及び福祉関係者向け学習	27
11/16	高年大学 受講生向け学習会	55
11/18	筑山地区民生委員児童委員協議会	26
11/27	山口区 区役員及び福祉関係者向け学習	26
1/15	山家コミュニティ 発表とまとめの会	40
1/20	二日市東地区民生委員児童委員協議会	25
2/26	筑紫コミュニティ 福祉推進者のつどい	60
		497

5 社会福祉法人連絡会設置に向けたネットワークづくり

- ・内 容 ⇨ 筑紫野市内の社会福祉法人の公益的（地域貢献）な取り組みについて情報を把握するために筑紫野市内の社会福祉法人13法人へアンケートを実施し、他の法人との情報共有を図り、社会福祉法人連絡会（仮称）の設置に向けたネットワークの構築に向け取組みを開始した。

6 在宅介護者交流会の開催

- ・内 容 ⇨ 筑紫野市及び近郊に在住の介護者同士の介護に関する情報交換や交流の場として、筑紫野市介護を考える家族の会（筑紫野市市民協働事業）と協働で介護者のつどいを開催。

・実施日

- ① 6月29日 … 参加者53名
「介護現場の声～介護が必要になったらどうしたらいいの？」
講師：アシスト桜台ケアプランサービス 石井一哉氏
講師：ツクイ筑紫野サービス提供責任者 永川初美氏
- ② 9月28日 … 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ③ 11月30日 … 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ④ 3月15日 … 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

7 筑紫野市民生委員・児童委員連合会への協力・支援

- ・内 容 ⇨ 民生委員・児童委員、主任児童委員が、地域福祉の担い手として十分に実践活動を行うことが出来るよう研修会の開催や関係機関との連絡調整、組織運営のための理事会、定例会、部会の開催支援を行った。
また、令和3年度より広報委員会が立ち上がり、民生委員・児童委員活動の広報及び啓発の支援を行った。

8 手話奉仕員養成講座

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

9 障がい児・者クリスマス交流会

- ・実施日 ⇨ 12月19日(日)
- ・内 容 ⇨ 市内の福祉・ボランティアグループやボランティアスタッフの協力を得て、市内在住の障がい児・者及びその家族・友人を対象に交流会を実施。ものづくりやレクリエーション、ボランティアグループによる演奏会を行った。
- ・参加者 ⇨ 一般参加者…16名、学生スタッフ…3名、カメラスタッフ…1名
福祉グループどろっぷす…2名、音楽グループ土音喜合…3名 合計25名

10 福祉教育・ボランティア学習の推進

- ・実施日
 - ①9月16日、17日 二日市東小学校
※緊急事態宣言のため外部講師の派遣は中止となったが、車いす体験学習用の映像を作成し小学校へ提供した。
 - ②11月4日 吉木小学校
参加者：小学4年生 42人
協 力：ゲストティーチャー和田 孝氏、ボランティア1名

11 サマーボランティアスクール

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

12 ボランティア活動保険加入助成事業

項 目	年 度		
	令和3年度	令和2年度	令和元年度
加 入 者 数 (名)	907	916	1,760

13 福祉ボランティア団体助成事業

- ・実施日 ⇨ 通年
- ・内 容 ⇨ 福祉ボランティア団体の自主性の育成、活動の活性化の支援などのために筑紫野市ボランティア連絡協議会の加入7団体に対して、活動費等の助成を行った。

14 分野別入門ボランティア講座

①入門拡大写本ボランティア講座

- ・実施日 ⇨ (第1回目)8月2日、6日 (第2回目)11月26日、12月3日
- ・参加者 ⇨ 参加者 延べ24名

②入門点字ボランティア講座

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③入門朗読ボランティア講座

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

1 5 ちくしの子育てサロン「ふれんずひろば」

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

1 6 福祉機器貸出事業

- ・実施日 ⇄ 通年

- ・内 容 ⇄ 一時退院や外出される場合や福祉教育時に介護用品の無料貸し出しを行った。(※ 但し、要介護認定を受けている方は介護保険を優先させる。)

福祉機器名 \ 年 度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
車 イ ス	104	60	93
浴 槽 台	2	2	1
介護支援ベッド	2	3	9
浴 槽 手 す り	1	0	2
歩 行 器	0	1	2
シャワーチェアー	5	4	2
シャワーキャリー	1	2	0
エ ア マ ッ ト	2	3	1
ポータブルトイレ	4	3	2
白 杖	3	1	
シルバーカー	3	0	2
ア イ マ ス ク	1	0	3
点 字 器	2	1	0
貸 出 総 合 計 (件)	130	80	117

1 7 行事用機器貸出事業

- ・実施日 ⇄ 通年

- ・内 容 ⇄ 行事用機器の無料貸し出し。

福祉機器名 \ 年 度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
綿 菓 子 機 (件)	0	2	18
ポップコーン機 (件)	0	1	20
催 事 用 テ ン ト (件)	0	1	9
貸 出 総 合 計 (件)	0	4	47

【3】事業内容（暮らしのサポートセンター担当）

1 暮らしのサポートセンター事業（福祉サービス利用援助事業）の推進

- ・内 容 ⇨ 判断能力が不十分なために日常生活に支障がある方を対象に「暮らしのサポートセンター」による福祉サービス利用援助（日常的金銭管理等）・相談事業・法人後見などを実施し、誰もが安心して地域の中で生活が続けられるよう支援を行った。また生活保護受給者を対象とした日常生活自立支援事業（福岡県社協受託事業）も引き続き実施した。

（日常生活自立支援事業／福岡県社協受託事業）

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
契 約 件 数 （件）	49	42	37
訪問支援件数（延件数）	1,192	1,172	978

（暮らしのサポートセンター事業）

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
契 約 件 数 （件）	38	38	48
訪問支援件数（延件数）	792	785	1,040

（法人後見事業）

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
受 任 件 数 （件）	4	4	4
訪問支援件数（延件数）	163	90	176

2 不登校支援事業

- ・内 容 ⇨ 不登校の不安や悩みを共に考えていくことを通して、保護者自身が家庭におけるわが子とより良い関係を再構築できるように支援するサポーターの養成講座等を実施した。講師：長阿彌 幹生 氏（教育文化研究所代表）

（不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座）

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施日 ・回数	令和3年11月 ～令和3年12月 (毎週金曜日・6回)	令和2年11月 ～令和2年12月 (毎週金曜日・6回)	令和元年12月 ～令和2年2月 (隔週水曜日・6回)
受講者 延人数(名)	53	66	111

(不登校講演会)

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施日	7月3日(土) 3月19日(土)	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	7月27日(土) 12月22日(日)
参加者(名)	49	—	74

3 天拝いこいの館の運営

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開館日数	191	263	263
足湯利用者数(名)	624	251	2,488

※緊急事態宣言等による臨時休館あり。

足湯については、まん延防止期間中は中止、その他の期間も土日のみ営業。

【4】事業内容（介護保険担当）

1 コミュニティヘルパー派遣事業（独自事業）

- ・内 容 ⇨ 筑紫野市民で、高齢者や障がい者、また突然の事故や病気で日常生活に手助けが必要になった方に対し、ホームヘルパーを派遣して、適切な家事援助や軽介護サービスを提供し、在宅生活の支援を行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者実人数月平均（名）	7	7	6
年間利用者延人数（名）	447	443	264
年間利用者延人数月平均（名）	37	36	22

2 居宅介護支援事業（介護保険事業）

- ・内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられた利用者に対してケアプランまたは予防プランを作成してサービス事業者との調整を行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
月平均介護保険ケアプラン作成数（件）	66	73	77
年間介護保険ケアプラン作成数（件）	791	878	922
月平均介護予防ケアプラン作成数（件）	14	20	24
年間介護予防ケアプラン作成数（件）	169	234	283
年間ケアプラン総作成数（件）	960	1,112	1,205

※（ケアマネージャー数） （4名） （5名） （6名）

3 訪問介護事業（介護保険事業）

- ・内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランまたは予防プランで訪問介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、生活援助・身体介護・相談助言のサービスを行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者実人数月平均（名）	77	75	80
年間利用者延人数（名）	6,251	5,952	6,594
年間利用者延人数月平均（名）	521	496	550

4 訪問入浴介護事業（介護保険事業）

- ・内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランで訪問入浴介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者実人数月平均（名）	2	2	3
年間利用者延人数（名）	78	101	253
年間利用者延人数月平均（名）	7	9	21

※令和3年度途中に利用者が1名減となり訪問入浴回数が減少している。

5 障害者等居宅介護事業（障害者総合支援法事業）

- ・内 容 ⇨ 筑紫野市民で身体障がい、知的障がいのある方（児童を含む）、精神障がいのある方のお宅にホームヘルパーを派遣し適切な家事及び介護等の日常生活の支援を行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者実人数月平均（名）	41	42	43
年間利用者延人数（名）	3,131	2,980	3,003
年間利用者延人数月平均（名）	260	248	250

6 入浴サービス事業（受託事業）

- ・内 容 ⇨ 筑紫野市民で、重度の身体障がいのため自宅での入浴が困難な方に対して入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者実人数月平均（名）	3	4	4
年間利用者延人数（名）	414	460	487
年間利用者延人数月平均（名）	34	38	41

7 訪問型サービスA派遣事業（受託事業）

- ・内 容 ⇨ 筑紫野市介護予防・日常生活支援総合事業における、要支援認定もしくは事業対象者に対して、住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう生活援助のサービスを行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者実人数月平均（名）	2	5	7
年間利用者延人数（名）	54	115	168
年間利用者延人数月平均（名）	5	10	14

8 「食」の自立支援事業（受託事業）

- ・内 容 ⇨ 筑紫野市民で、虚弱な高齢者若しくは心身に障がい有する方に対して、夕食の提供及び安否確認を目的として弁当配達を行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者実人数月平均（名）	87	92	123
年間総利用食数（食）	20,565	22,983	30,311
利用食数月平均（食）	1,714	1,915	2,526
利用食数1日平均（食）	56	63	83

※令和3年度は、新規利用者が12名あったが、従来からの利用者の入院・入所が多く配食数が減少している。

【5】事業内容（施設担当）

1 生活介護事業

- ・内 容 ⇨ 個別支援計画に基づき、利用者に応じた介助・支援を行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
契 約 者 数(名)	17	18	19
年間利用者延人数(名)	2,617	3,046	3,106
年 間 開 所 日 数(日)	244	241	240
1 日 平 均 利 用 者 数(名)	11	12	13

※9月に利用者1名が亡くなられたことに伴い、契約者数が減となっている。また、新型コロナウイルス感染症拡大による登園自粛により、年間利用者延人数及び1日平均利用者数も減となっている。

2 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

- ・内 容 ⇨ 夏休み等長期休暇中の障がい児を対象に、生活の安定を図り、自立や社会参加のための支援を行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
契 約 者 数(名)	8	8	9
年間利用者延人数(名)	74	39	98
年 間 実 施 日 数(日)	39	21	43

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した夏休み期間の日中一時支援事業を今年度は実施したため、延べ人数・実施日数ともに増となっている。

3 児童発達支援事業所「ちくしのスマイルキッズ」事業

- ・内 容 ⇨ 心身の発達において特別な配慮が必要と思われる未就学児に対し、基本的な生活習慣の自立が図れるように、個別及び集団による日常生活に必要な機能訓練や生活指導を行った。

年 度 項 目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
契 約 者 数(名)	16	23	28
年間利用者延人数(名)	567	816	858
年 間 実 施 日 数(日)	220	166	193

※就学や就園に伴い、契約者数は減となっているため、相談支援事業所等の関係機関へ周知を行い、新規契約増に向けた取り組みを行っている。感染症の拡大が若干収まりつつあることもあり、新規利用に向けた問い合わせや見学が少しずつ増えている。

4 お楽しみ食事会（生活介護事業）

- ・内 容 ⇨ 食事を通じての楽しみづくりとして、季節にあった食事会を実施した。
- ・実施日 ⇨
 - ・ 5月28日 バイクドチーズケーキ作り他
 - ・ 8月 4日 柿の葉を用いたお寿司で季節を感じよう
(柿の葉寿司、お吸い物作り)
 - ・ 11月16日 季節のフルーツを食べて秋を満喫しよう
(りんごのバラ柄紅茶ケーキ作り)
 - ・ 2月14日 バレンタインデーにちなんだガトーショコラ作り他
→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5 季節行事活動（生活介護事業）

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 4月⇒園外散策(お花見) | 5月⇒室内いちご狩り(レクリエーション) |
| 6月⇒七夕飾り制作(創作活動) | 7月⇒七夕会 |
| 8月⇒オリンピック観戦(スクリーン観賞) | 9月⇒秋の書道 |
| 10月⇒ハロウィンパーティー(仮装、射的ゲーム等) | 11月⇒秋の散策(紅葉狩り) |
| 12月⇒スノードーム制作(創作活動) | 1月⇒餅つき、餅花制作、書初め |
| 2月⇒豆まき(レクリエーション) | 3月⇒雛祭り(お雛様パネル制作) |

6 社会体験親睦バスハイク（生活介護事業）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

7 地域社会参加（生活介護事業）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

8 もちつき大会（生活介護事業）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティアとの園外での餅つきは中止
利用者のみ学園内で、もちつき大会(餅花作り)を実施
- ・実施日 ⇨ 1月 5日(水)
- 参加者数⇨利用者13名

9 遠足（児童発達支援事業）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

10 保護者交流会（児童発達支援事業）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部講師を招いての勉強会は中止。
利用保護者のみで交流会(勉強会)を実施
- ・実施日 ⇨ 3月25日
- ・参加者 ⇨ 3～5歳児利用保護者5名